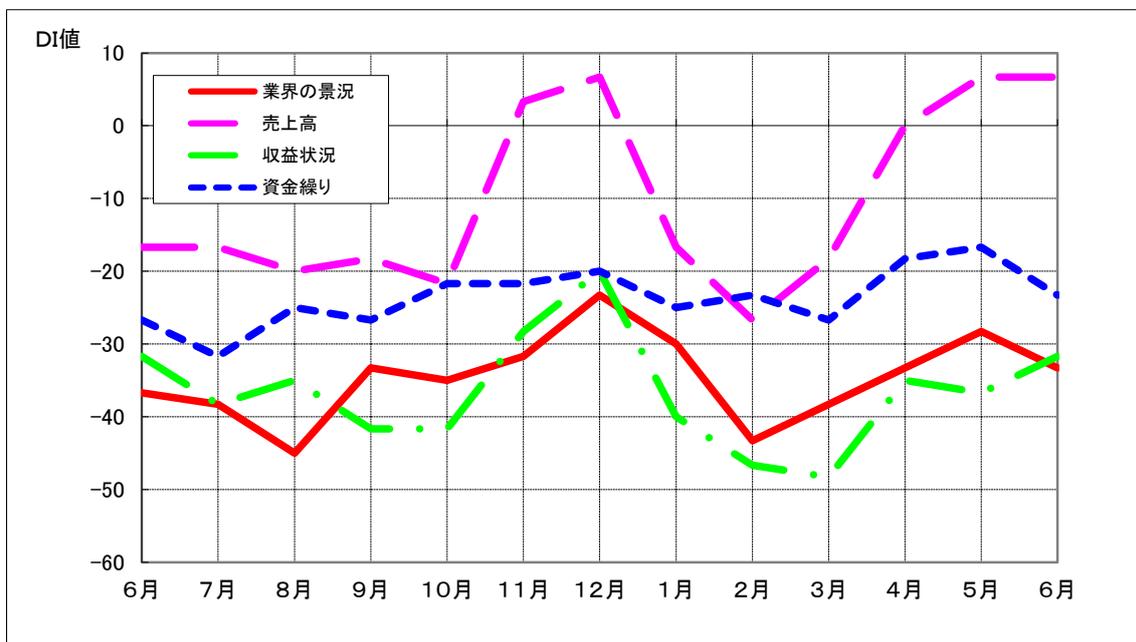


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和3年6月～令和4年6月

単位:ポイント



	R3					R4							
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
業界の景況	-36.7	-38.3	-45.0	-33.3	-35.0	-31.7	-23.3	-30.0	-43.3	-38.3	-33.3	-28.3	-33.3
売上高	-16.7	-16.7	-20.0	-18.3	-21.7	3.3	6.7	-16.7	-26.7	-18.3	0.0	6.7	6.7
収益状況	-31.7	-38.3	-35.0	-41.7	-41.7	-28.3	-20.0	-40.0	-46.7	-48.3	-35.0	-36.7	-31.7
資金繰り	-26.7	-31.7	-25.0	-26.7	-21.7	-21.7	-20.0	-25.0	-23.3	-26.7	-18.3	-16.7	-23.3

6月のDI値は前月と比べ、1項目改善、1項目不変、2項目悪化であった。「収益状況」DI値は5.0ポイント改善、「売上高」DI値は不変、「業界の景況」DI値は5.0ポイント、「資金繰り」DI値は6.6ポイントそれぞれ悪化した。

前年同月比においては3項目改善、1項目不変であった。「売上高」DI値は23.4ポイント、「業界の景況」DI値は3.4ポイント、「資金繰り」DI値は3.4ポイントそれぞれ改善し、「収益状況」DI値は不変となった。

連絡員からは、業種を問わず、各種原材料及びエネルギー等の価格高騰による影響が報告されている。

製造業では価格転嫁を進め販売価格の引上げ、それに伴い売上が増加している企業もある。しかし、それ以上に原材料の高騰、円安の進行、加えて公共料金や原油の値上りの問題が重なり、収益の回復は鈍い。業界によっては価格転嫁が難しい業界もあり、対応に差がでている。

非製造業では、商店街に人出が戻りつつあり、イベントも開催され始めている。しかし、商品の欠品や原材料の高騰から苦勞している。夏物商品の動きも始めているが、新型コロナウイルス禍以前のような回復には至っていない。建設業では夏に向けて工事量の増加は見られるが、人員不足の影響を懸念している。